

## 【本編】

シーン：

炭酸水の後のストーリー。ご主人様からトイレに呼び出しをされて嫌な予感しかないメイドちゃん。ご主人様の手には油性ペンが握られており、何をしたいか分かってしまう自分に嫌気が刺すが、いつも通り淡々とご主人様の変態性癖に向き合う。

失礼いたします、ご主人様。お呼びでしょうか？

(またかという感じで)

はあ…またですか？

ご主人様がお望みとあらばどんなことも、と申しましたが。

場所はトイレ、ご主人様の手には油性ペン。

これから何をお望みになるか、予想できてしまう自分が情けないです。

性欲でお困りでしたら、

私がいくらでもオマンコでご奉仕するとあれほど申しましたのに…仕方ありませんね。

毎度の事ながら先に幾度なる非礼をお詫びします。

(ここまで)

(大きく溜息をついてからプレイに入る)

はあ…ご主人様？ お召し物を全て脱いでください。

早く、脱ぎ捨ててください。わかってますよね？

(ここまで)

(6秒からカウント早める)

ほら、10 数えますよ。

10～

9～

8～

7～

6、5、4、3、2、1

(ここまで)

はい、よく脱げました。

なんですか？ 何を隠しているんです？

隠さずに気をつけの姿勢をしてください。ほらっ！ 気をつけ！

はあ…もう勃起されてるんですか？

ずっと思ってるんですが、ご主人様は本当に粗末なチンポですね。

短くて、小さくて。私の指よりこ～んなに短いチンポ、必死で勃起させて。

んふふ、そんな顔して♡ 気持ち悪いです。

あら、罵倒されてもっと勃起するんですか？

ザコチンポ、ビクビクしてますよ。

その負け犬根性、見上げたものです。

いえ、見下げ果てたものです。

そんな変態マゾのご主人様は、便器とセックスしたいんですよね？

便器以下の負け犬チンポは便器とオーラルセックスさせます。

(嘲笑気味に)

ん？ ああ、オーラルセックスがわかりませんか。フェラチオですよフェラチオ。

いまだに童貞のご主人様には難しすぎましたか？

便器にザコチンポ、フェラしてもらうんです。

今日から便器でシコるんですよ？

ご主人様の雑魚遺伝子、ちゃんと便器の中にコキ捨ててくださいね。(ここまで)

じゃあ、ご主人様。

顔にご自身のパンツをかぶってください。

くっさいパンツ、しっかり嗅いでください。

それから、チンポは便器のふちに置くように。

早くしてください。マナー違反ですよ？

(ドン引きしながら)

…うわ、本当にやるんですか。

便器以下ですね。どこまで墮ちれば気が済むんですか？

はい。ご主人様より便器のほうが、立場が上に決まってます。なに

せ、私が掃除した便器ですから。本当に無様ですね。(ここまで)

じゃあ、いよいよ便器とセックスですよ。

便器…では敬意が足りませんね。

お便器様、とお呼びしましよう。

ご主人様の雑魚精子を受け止めるお便器様に挨拶してください。え、  
わかりませんか？ 仕方ありませんね。

私の言うとおりに仰ってください。

(淡々と読み上げる)

お便器様、僕のチンポしゃぶってください♡

雑魚精液、全部ゴックンしてください♡

お便器様とセックスしたいです♡ (ここまで)

…本当に言うんですか。気持ち悪いです。

気持ち悪いついでに、もっと大声で言ってください。

(ややきつく)

ほら！ 言え！ もっと大声で！ (ここまで)

ふう、ご主人様にしては及第点です。

それに油性ペンで…はいはい、落書きをするんですね。じゃあ、ご主人様のツンツン主張してる2つの汚い乳首には……ハートマークです。

ふふ♡早く描いてください？

(SE:油性ペン)

下腹部にも男子トイレのマークを描きましょうか。

(SE:油性ペン)

んふふ、肉便器みたいでカッコいいですよ、ご主人様。

じゃあ頑張って、お便器様とセックスしてください。

もちろん、ご自分でシコるんですよ。

お便器様を妊娠させたいんですよね？

ご主人様の情けないお姿、私がしっかり見ててさしあげます。

(楽しそうに)

それじゃあ、スタート♡

んふふ♡必死でしごいてますね。

お猿さんみたいです。

そんなに気持ちいいんですか？ お便器様とのセックス♡

顔がトロけて、女の子みたいですよ♡

もっと喘いでください？ 女の子みたいにカッコよく喘ぐんですよ♡

あん、あん♡って喘いでください。

はあ…ヘコヘコ腰を揺らして、無様ですね。

ご主人様にプライドなどというものは存在しないのですね。

メイドに罵られながらお便器様とセックスするなんて。

マゾ豚肉便器の才能があふれていますよ。

ああ、ザコチンポの先からお汁がにじんでますね。

じゃあ、お便器様のフチに塗りつけてください。

できますよね？

お便器様にマーキングするんですよ。

お便器様も、ご主人様にマーキングされたら嬉しいと思いますよ？

ほら、スリスリ、スリスリ。

情けない先走り汁、お便器様にマーキングしちゃいましょう。

まだ射精はダメですよ。

射精を我慢しながら、お便器様にマーキングしてください。では私がお便器様になりきってさしあげます。(ここまで)

(一呼吸おいて「」内は嘘喘ぎ)

はあ…

「あんっ…あんっ、マーキングすごい…ザコチンポ、とってもかっこいい♡」  
ふふ、ご主人様、キンタマせり上がりでますよ？

「ああ…ご主人様のザーメン…ゴックンさせてください♡」いかがでしたか？(ここまで)  
お便器様、ご主人様のザコチンポで喜んでくださってよかったです。

なに嬉しそうにしてるんですか？

本当に気持ち悪いですね、ご主人様。

演技するのも疲れるんですよ。

マーキングはここまで、です。またチンポをシコシコしてください。

その便器以下の最下層チンポをシコるんですよ。

手を止めてはダメです。

一生懸命シコらないと、射精できないでしょ？

マゾ豚チンポ、ほら、シコシコ、シコシコ♡

愛しいお便器様に向かって、シコシコするんですよ？

あらあら、ご主人様？

もうイきそうなんですか？

キンタマがビクビクしてますよ。

ふふ、そんなに出したいんですか？ お便器様に。

チンポからマゾ精子出して、お便器様にゴックンさせたいんですか？  
もっとはっきり答えてください。

お便器様に射精したいんですか？

そうですか、仕方ないですね。

10 数えますから、ゼロで出してくださいね？

お便器様に向かって「愛してます」って叫びながらシコってくださいね。ええ、当然でしょう。

このお便器様は、ご主人様のマゾ豚チンポから出る精子を受け止めてくれるんですよ？ 誰も欲しがらないご主人様の精液、ゴックンしてくださるんですよ？

感謝してください。

お便器様に感謝しながら、愛を叫んでくださいね。

はい、スタート。

(カウントはゆっくりめで)

10～

9～

8～

ほら、ちゃんと愛してるって叫んでください。

7～

6～

5～

あと半分ですよ。

大丈夫ですか？

ちゃんとゼロでイってくださいね？

チンポしごく速度、上げてください。

4～

3～ (/ここまで)

ああ、そこで止めてください。

申し訳ありません、ご主人様のオナニーがあまりに粗末でしたので。

遊んでるんですか？ もっと激しくオナニーできないんですか？

お便器様を愛しているならできますよね？

本気で射精する気持ちを持ってください。

ゴックンしてほしいんでしょう？

お便器様に、ゴミ以下のマゾ精子、飲んでほしいんですよね。

ちゃんと答えてください。

ふふ、そんなに出したいんですか？ お便器様に。

わかりました。

それじゃあ、カウント再開です。

ちゃんとシコシコするんですよ？

(SE:シコシコ音を射精時まで)

5～

あら、カウント戻っちゃいましたね？

もっと余裕を持ったオナニーにしないと、失敗しちゃいますよ？ んふふ♡ 本気で余裕のあるオナニーなんて、ご主人様には無理ですね♡ 大丈夫、私はご主人様のこと大好きですから。

どんなに無様な姿も、目に焼き付けましょう。

ザコ精液、ちゃんとコキ捨ててください。

それでは、一気にカウントしますね？

(一般的な秒数のスピードで)

5！

4

3

2

1 (ここまで)

ゼロ！ ゼロ！ ゼロ！ ゼロ～！

いけ、マゾ！ 最下層肉便器！ 全部出せ！ 廃棄確定精液、全部ブチまけろ！

うわ……ご主人様のゴミ精子が、お便器様を汚してますよ？ こんなに出されたら、お便器様が困ってしまいますね。

おめでとうございます。想いを遂げましたね、ご主人様？

ご主人様の無様な姿、しっかりと拝見いたしました。

惚けた顔して、本当に情けないオナニーがお好きなんですね。ふう

……満足されましたか？

私も疲れてきました。

それじゃあ、後始末しましょうか。

もちろん、ご主人様がするんですよ？

当然でしょう？

## 分岐「便器を舐めるパート」

(今までで一番ドン引きしながらお願いします)

はあ……ご主人様。

後始末、とは言いましたが。

ご主人様の精子で汚れた便器を、舐めたいんですか？

うわ……さすがに引きます。心の底からドン引きです。

仕方ないですね、ちゃんと舐めてください。

お便器様にキスするんですよ、キス。

ほら、まずは一回、チュってしましょう？

うわ……気持ち悪い。吐き気がしそうです。

何してるんですか、たった一回のキスで綺麗になるわけないでしょう。

綺麗になるまで、キスしてください。

ただのキスじゃ足りませんよ。

ディープキスするんですよ、ディープキス。

わかりませんか？ 舌でレロレロって舐めるキスですよ。

ほら、早くディープキスしてください。

レロレロ、レロレロ。

舐め取れましたか？

ご主人様の手についた精液も舐めてください。

舐め取った精液、まだ飲んではいけませんよ。

お口の中で、ザーメンクチュクチュしてください。

ほら、クチュクチュ、クチュクチュ。

おいしいですか？

はあ、率直に申し上げて気持ち悪いですね。

理解するのも汚らわしいというものです。

では、ゴックンなさってください。

はい、ゴックン。

よくできました。ご主人様にしては合格でしょう。

人としては失格ですが。(にここまで)

## 「便器を舐めないパート」

ふふ、さすがに便器は舐めませんよね。

私の掃除が行き届いたお便器様とはいえ、汚いですから。

もし舐めていたら、

ご主人様への忠誠心を完全になくなってしまうところでしたよ？

…はい、クソ雑魚マゾ豚便器だと認識するところでした。

それでもよかったです？

はあ、ご主人様の世迷言にはもう慣れました。

私は仕事がまだまだ残っておりますので、さっさと綺麗にしますね。

## 「共通パート」

それじゃあ、最後にお便器様を綺麗にしましょうか。

ゴミ精子、流すんですよ。

ほら、よく見てください。

私がレバー引いたら、全部流れちゃうんですよ。

ご主人様のマゾ豚精子、お水でジャーって流れちゃうんですよ。それでは、引きます。

あ～あ♡ご主人様の大切な子種が流れていきますね。

んふふ♡ただの汚水として処理されるんですよ？

どんなお気持ちですか？

ご主人様の貴重な精子、一瞬で綺麗に流れちゃいましたね。

なに興奮してるんですか、気持ち悪いです。

はあ…でもご安心ください、ご主人様。

ご主人様がどんな変態性癖を持っていても、私はメイドとしてお仕えいたします。

…ああ、本当にひどい肉便器の格好ですね、ご主人様。

せめてお体の落書きは落としませんと。

お湯を沸かしておきますので、あとで浴室へいらしてください。

それでは私は仕事が残っておりますので、失礼いたします。